

# 卓球競技(知的障害部門)申し合わせ事項

開催日:5月27日(土)

会 場:駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館

## 競技規則

本項に定める以外は、平成29年度公益財団法人日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」により行う。

## 競技方法

- (1) 試合は1ゲーム11ポイントの5ゲームズマッチで行う。
- (2) 男子、女子それぞれ19歳以下、20歳～35歳、36歳以上の3部に分けて行う。
- (3) 各部、予選をリーグ戦で行い、各リーグ上位者による順位決定戦をトーナメントで行う。  
但し、参加者数によっては競技方法を変更する場合がある。
- (4) 決勝トーナメントの場合は3位決定戦は行わない。
- (5) タイムアウト制は実施しない。

## 招集方法

招集時間は試合開始10分前とし、提示および放送により招集する。招集場所は当日掲示する。

## ナンバーカード

主催者の用意したもの(ピンク色)を競技用シャツの背部に付けること。

## 表彰

競技終了後、競技会場で行う。各区分とも1位、2位、3位にメダルを、それ以外の参加者に敢闘賞を授与する。

## その他

- (1) 申込書は**様式個人競技-4「卓球競技参加申込書」**を提出すること。
- (2) 試合球は、プラ3スタープレミアム硬球(白40mm)を使用する。
- (3) JTTA公認以外のユニフォームを着用する場合は、事前に本部に申し出ることとし、この場合、白色は禁止とする。
- (4) 台にフリーハンドがさわっても失点とはならない。ただし、故意に触れたり動かしたりした場合は反則とする。
- (5) 通常のサーブが困難な選手に限り、監督の申し出があった時にボールを台に一度落としてから打つことを認める。この場合、ラケットの面を下に向けて強く打つことは禁止する。
- (6) サーブ時の反則(静止や、投げ上げの高さ等)はとらないが、正しいサーブが行えるよう、試合終了後審判による指導を行うことがある。
- (7) 知的障害等が原因と認められる試合の中断があった場合、1つのマッチでの中断時間は最大10分とする。また、速やかな試合進行のために、審判、監督、介護者等が競技者に進行を促す言葉をかけたり選手に触れることができる。
- (8) 当日欠席が出た場合、リーグ戦については組合せを変更することがある。その場合は監督または本人に連絡を行う。

※ 大会プログラム、ナンバーカード(ピンク色)は事前に送付する。

※障害別参加区分

障 害 区 分	区分番号
知的障害	18

# 卓球競技(身体障害部門)申し合わせ事項

開催日:5月27日(土)

会 場:駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館

## 競技規則

本項に定める以外は、平成29年度公益財団法人日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」により行う。

## 競技方法

- (1) シングルス11ポイント5ゲームズマッチのトーナメントで行う。(3位決定戦は行わない。)
- (2) 申込人数が3名の場合は、リーグ戦で行う。また、少人数の場合は、障害区分の近い区分と組み合わせて行う。
- (3) タイムアウト制は実施しない。

## 招集方法

招集時間は試合開始10分前とし、掲示および放送により招集する。試合コートに集合しない場合は、再度呼び出しを行うが、10分を経過しても集合しない場合は、棄権とする。招集場所は当日掲示する。

## ナンバーカード

主催者の用意したもの(肢体不自由者—白色、視覚障害者—緑色、聴覚障害者—黄色)を競技用シャツの背部に付けること。

## 表彰

競技終了後競技会場で行う。各区分とも1位、2位、3位にメダルを授与する。

## その他

- (1) 申込書は**様式個人競技-4「卓球競技参加申込書」**を提出すること。
- (2) 使用球は、ブラ3スタープレミアム硬球(白40mm)を使用する。
- (3) JTTA公認以外のユニフォームを着用する場合は、事前に本部に申し出ることとし、この場合、白色は禁止とする。
- (4) 競技時間は、進行状況により早まる場合がある。
- (5) 選手が会場から離れる場合は、競技進行に支障のないようにすること。
- (6) 進行予定は、申し込み締切り後決定する。

※大会プログラム、ナンバーカードは事前に送付する。

※障害別参加区分 (申し込み人数により、1部、2部を併せて競技する場合がある)

障 害 区 分			区分番号
肢体Ⅰ	上肢障害	片上肢障害	1
		両上肢障害	2
	下肢障害	片下腿切断または、片下肢不完全	3
		片大腿切断または、両下腿切断	4
		片下肢完全または、両下肢不完全	
		片下腿および片大腿切断 両大腿切断または、両下肢完全	5
体幹障害	体幹	6	
肢体Ⅱ	脳原性麻痺以外 で車椅子常用、使用	第8頸髄まで残存(「第6頸髄まで残存」、「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。)	7
		座位バランスなし	8
		その他の車椅子	9
肢体Ⅲ	脳原性麻痺	車椅子使用	10
		杖または、松葉杖使用	11
		上肢に不随意運動あり	12
		上肢に不随意運動なし	13
		片側障害	14
視 覚	その他の視覚障害	16	
聴 覚	聴覚・平衡機能障害、音声・言語機能障害、そしゃく機能障害	17	

# 卓球競技(精神障害部門)申し合わせ事項

開催日:5月27日(土)

会 場:駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館

## 競技規則

本項に定める以外は、平成29年度公益財団法人日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」により行う。

## 競技方法

- (1) シングルス11ポイント5ゲームズマッチのトーナメントで行う。(3位決定戦は行わない)
- (2) 男女別に分かれて行う。(年齢区分は採用しない)
- (3) 申込人数が3名の場合は、リーグ戦で行う。また、参加者が1人の場合は、男女混合又は他部門と組み合わせて行う場合がある。
- (4) タイムアウト制は実施しない。

## 招集方法

招集時間は試合開始10分前とし、掲示および放送により招集する。試合コートに集合しない場合は、再度呼び出しを行うが、10分を経過しても集合しない場合は、棄権とする。招集場所は当日掲示する。

## ナンバーカード

主催者の用意したもの(白色)を競技用シャツの背部に付けること。

## 表彰

競技終了後、競技会場で行う。各区分とも1位、2位、3位にメダルを、それ以外の参加者に敢闘賞を授与する。

## その他

- (1) 申込書は**様式個人競技-4「卓球競技参加申込書」**を提出すること。
- (2) 使用球は、プラ3スタープレミアム硬球(白40mm)を使用する。
- (3) JTTA公認以外のユニフォームを着用する場合は、事前に本部に申し出ることとし、この場合、白色は禁止とする。
- (4) 競技時間は、進行状況により変更になる場合がある。
- (5) 選手が会場から離れる場合は、競技進行に支障のないようにすること。
- (6) 進行予定は、申し込み締切り後決定する。
- (7) **参加定員は男女各12名(※どちらかが定員に達しない場合はこの限りではない)とし、定員を超えた場合は抽選を行う。尚、参加の可否については4月18日以降に連絡する。**
- (8) 全国障害者スポーツ大会選考の対象とはならない。

※ 大会プログラム、ナンバーカード(白色)は事前に送付する。

※障害別参加区分

障 害 区 分	区分番号
精 神 障 害	19

## 【卓球区分解説】

区分番号	障害区分	解説
<b>●肢体Ⅰ(切断、機能障害で立位)</b>		
1	片上肢障害	・片側の upper limb に機能障害がある者 ・片側の upper limb の切断者
2	両上肢障害	・両側の upper limb に機能障害がある者 ・両側の upper limb の切断者
3	片下腿切断、片下肢不完全	・(片側の足部の切断を含む)片側の下腿の切断者 ・一側の股・膝・足関節のうち一または二関節に機能障害がある者
4	片大腿切断、両下腿切断 片下肢完全、両下肢不完全	・(膝関節の離断を含む)片側の大腿の切断者 ・(足部の切断を含む)両側の下腿の切断者 ・一側の股・膝・足関節の全てに機能障害があり補装具なしでは体重を支えきれない者 ・両側の股・膝・足関節のうち一または二関節に機能障害がある者
5	片下腿・片大腿切断、 両大腿切断、両下肢完全	・片側の下腿及び片側の大腿の切断者 ・(膝関節離断を含む)両側の大腿の切断者 ・両側の股・膝・足関節の全てに機能障害があり補装具なしでは体重を支えきれない者
6	体幹	・頸部、胸部、腹部及び腰部(脊柱)のみに変形がある者(脊椎カリエスなどによる体幹の障害が該当し、四肢の機能障害を伴う場合は該当しない)
<b>●肢体Ⅱ(脊髄損傷、二分脊椎、骨・関節機能障害、切断といった脳原性麻痺以外の車椅子使用者)</b>		
7	第8頸髄まで残存	・頸髄を損傷し四肢に麻痺がある車椅子使用者 ・「第6頸髄まで残存」、「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする
8	座位バランスなし	・下肢麻痺で、背もたれのない座位の状態であらゆる手の支えなく座ることができない者
9	その他の車椅子	・下肢麻痺で、背もたれのない座位の状態であらゆる手の支えなく座ることができる者 ・脳原性麻痺や脊髄麻痺以外の車椅子使用者
<b>●肢体Ⅲ(脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等)</b>		
10	車椅子使用	・車椅子を使用して競技をする全ての脳原性麻痺者
11	杖、松葉杖使用	・杖や松葉杖などを使用して競技をする者
12	上肢に不随意運動あり	・意図的な動作に障害がある等の上肢の協調運動障害がある立位者
13	上肢に不随意運動なし	・上肢に協調運動障害のない立位者
14	片側障害	・片側の上下肢に可動域制限や麻痺等の障害があるが、杖や松葉杖等を使用して競技をしない立位者
<b>●視覚障害</b>		
16	その他の視覚障害	・区分15(サウンドテーブルテニス参加)以外の視覚障害者
<b>●聴覚・平衡機能障害、音声・言語機能障害、そしゃく機能障害</b>		
17	聴覚障害	
<b>●知的障害</b>		
18	知的障害	
<b>●精神障害</b>		
19	精神障害	
<b>※ サウンドテーブルテニス</b>		
<b>●視覚障害 ※視力は両眼の和ではなく、矯正後の良い方の視力で判定する</b>		
15	視力0から0.03まで 視野5度以内	